

ホッケ道北系群参考資料（FRA-SA2020-SC04-101）の公表版（2020/10/14）からの修正について

「補足資料3 2020年の漁獲圧の仮定について」において、下記のように誤記の修正および説明の追加を行った

<文章の修正>

P22 背景 11行目、13行目、26行目

P23 結果 1行目、3行目、8行目

修正前	修正後
親魚資源量	親魚量

P23 結果 11行目、14行目、15行目、17行目

修正前	修正後
2021年	2020年
一方、2021年の1歳の 約3.2万千トン	一方、2020年の1歳の 約3.2万トン
大きく影響される（補足図3-4）。	大きく影響され、Fを小さめに仮定するほうが 2021年の親魚量はより多く残せることがわかる（補足図3-4）。

P23 まとめ 2行目、 P23 まとめ 5行目～P24 1行目

修正前	修正後
漁獲量に大きな影響	漁獲量や親魚量に大きな影響
それによって、（平均値はほぼ変わらないものの）将来の	それによって、漁獲量や親魚量の平均値はほぼ 変わらないものの、将来の…P24の2行目へ

<グラフの修正>

P25 補足図 3-3a. グラフ、キャプション

修正前	修正後
	グラフの縦軸・横軸に単位を追加
「2021 年の漁獲量 (トン) と 2021 年の加入尾数 (百万尾・左上)・2020 年の加入尾数 (百万尾・右上)・2020 年の 1 歳への F (左下) との関係。また、右下は 2020 年の漁獲量 (トン) を縦軸にしたときの 2020 年の 1 歳の F との関係。バックワード・リサンプリングでの加入を仮定した場合。」	「2020、2021 年の加入尾数と 2021 年の漁獲量との関係 (上図) および 2020 年に仮定する 1 歳の F と 2020、2021 年の漁獲量との関係 (下図) いずれもバックワード・リサンプリングで加入を仮定した場合 (ホッケー・スティック型再生産関係を用いた低加入シナリオによる予測)。」

P26 補足図 3-3b. グラフ、キャプション

修正前	修正後
	グラフの縦軸・横軸に単位を追加
「図 2 と同じだが対数正規分布の加入を仮定した場合。」	「補足図 3-3a と同様の試算結果。ただし加入量は対数正規分布を仮定して予測した場合 (ホッケー・スティック型再生産関係を用いた通常加入の予測)。」

P26 補足図 3-4. グラフ、キャプション

修正前	修正後
	グラフの縦軸に単位を追加
「2021 年の親魚量 (トン) と 2020 年の 1 歳への F との関係。左:バックワードリサンプリング。右:対数正規分布。」	「2020 年の 1 歳の F と 2021 年の親魚量との関係。左:バックワード・リサンプリングで加入を仮定した場合 (ホッケー・スティック型再生産関係を用いた低加入シナリオによる予測)。右:対数正規分布を仮定して予測した場合 (ホッケー・スティック型再生産関係を用いた通常加入の予測)。」